

令和7年度阿久根市立脇本小学校 グランドデザイン

【学校の実態】

子供の姿 学校の特色 郷土の「人・もの・こと」 教師の願い 保護者の願い 地域の願い

【県教育振興基本計画 基本目標】

夢や希望を実現し未来を創る鹿児島の人づくり
～誰もが幸せや豊かさを感じられる地域や社会を目指して～

【市の教育未来ビジョン:教育目標】

主体的に学び社会とかかわり未来を創るひとづくり

【「脇本ならではの」教育の展開】

経営基調

公教育の立場と関係法令や学習指導要領の趣旨及び県・地区・市の教育施策を踏まえ、人権尊重の理念に則り、郷土の教育的な歴史や伝統を生かしながら、子供に確かな学力と豊かな心、たくましい体力を育成する責任ある教育を展開する。

校訓

かしこく(知) なかよく(徳) たくましく(体)

教育目標

分かる授業 楽しい学校 夢の実現

目指す子供像

- ① 進んで学び、学んだことを生かす児童
- ② 感謝と思いやりで、仲間と笑顔で過ごす児童
- ③ 目標をもち、粘り強く最後までやり抜く児童

目指す学校像

- ① 一人一人の居場所があり、笑顔と活気に満ちた学校
- ② 自信と将来への意欲を高め、夢を育む学校
- ③ 保護者や地域から信頼され、地域とともに歩む学校

目指す教師像

- ① 社会の創り手を育成する教師
- ② 児童とともに主体的に学び続ける教師
- ③ 家庭や地域との連携を密にし、信頼される教師

【小中一貫校としての経営の基本方針】

- 1 子供と向き合い、豊かな心をはぐくむ教育活動の実践
「人権教育は全ての教育の基本」とする人権教育を基盤とした学校づくり
豊かな心と自律・自製の心を育む特別の教科「道徳」と体験活動、読書活動の充実
- 2 一人一人の確かな学力を保証し、自己肯定感と夢を育む教育活動の展開
学習者主体の「個別最適な学び」と「協働的な学び」による確かな学力を育てる指導方法改善の実践
自己決定の機会や共感的な人間関係の重視による自信と夢を育てる指導力の向上
- 3 地域とつながり、共生・共鳴する教育活動の充実

重点実践事項 ★小中の共通実践事項

1 確かな学力の定着

- ◎ 「北薩の授業づくりの3ポイント」を意識し、授業のゴールイメージ、目指す子供の姿を明確にした「授業のバックワードデザイン化」
- ◎ 発問・板書・指示、ICT活用(デジタルとアナログのベストミックス)を図る指導技術の向上
- ◎ 子供の非認知能力を高め、自らの学びを振り返る「わきもとタイム」の充実(学びに向かう力・人間性の育成)
- 小中一貫教育、一部教科担任制、小・小連携等、指導体制と指導方法の工夫による学力向上
- ◎ 子供が自ら問いをもち、解決する「探究的な学び」の創造(総合的な学習の時間の充実)
- ◎ 教科横断的な探究的な学びの推進
- ★ ラスト10分の充実

2 豊かな心とたくましい体の育成

- いじめや不登校の未然防止、早期発見と解消、SOSの受け止め方、道徳、キャリア教育の充実
- 「一校二運動」(朝のかけ足、なわとび運動)、「一家庭一運動」の推進と個に応じた指導の実践
- 健康教育の推進(食に関する指導、歯と口の健康づくりの推進、新生活様式での感染症予防)
- ★ 体育の授業での5分間運動の実施

3 基本的な生活習慣・規範意識の確立

- ◎ 「脇本あ・い」の徹底(あいさつ・歩き方・後始末、いじわる・いたずら・いやがらせ)
- 「脇本っ子見届け週間」による生活時間見直しと、家庭と連携した自立・自製の心を育む教育実践
- ★ 自主的なあいさつ、返事の徹底 ★寝る前1時間は、メディアと離れて睡眠時間の確保

4 郷土の「人・もの・こと」を生かした教育活動

- ◎ 地域人材、文化、行事、施設等を最大限に活用し、子供が郷土に愛着と誇りをもてる教育活動
- ◎ 子供が自らテーマを設定し、探究する学習の創造(マイプラン学習)

5 教職員の資質向上と信頼される学校づくり

- 教職員としての資質向上と業務改善に取り組み、信頼される「地域とつながる学校」づくり
- 小中一貫教育のための小・中(脇本小、折多小、三笠中)教員による合同研修会の実施

